

(別記)

菊陽町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町では、主食用米の作付面積が年々減少しており、平成29年度は生産数量目標180haに対して作付面積152haと配分面積を下回っている。今後もこの傾向が継続すると想定されるため、作付振興と水田機能維持のための支援を行っていく必要がある。

農業形態では水田作物を中心に露地野菜の作付が盛んで、特に人参は国の野菜指定産地を受けており、町の特産品として位置づけられている。また、本町では人口の増加が著しく、都市部の消費地に近いことから、農産物直売所やインショップ向けの様々な農産物も生産されており、特色ある産地作りを目指している。

また、近年は人参耕作者を中心に担い手への農地の集積が進む一方で、管理が困難な農地や、労働力不足が懸念されており、それらの農地や作業を補完する組織の育成、充実を推進し、持続性の高い農業を構築する必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

持続性の高い農業の実現のため、生産基盤の整備を進めるとともに、町内の水田においては、産地交付金を活用しながら、人参を転作作物の中心として位置付け、農業者の所得増加、農作物の作付維持・拡大を図り、特色ある産地づくりを推進する。

(1) 主食用米

平成29年度は生産数量目標を作付面積が大きく下回っている現状であり、需要に応じた生産を図るため、今後とも経営所得安定対策等の取り組み状況を注視しながら、作付の維持・拡大を図る必要がある。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用し、担い手による作付拡大や多収品種の取組を支援し、需要に応じた作付の推進を図る。また、耕畜連携による水田の有効活用やわら利用の取組を推進する。

イ 米粉用米

主食用米の作付減少が見込まれるなか、米粉を使った加工品については需要が高まっている。今後は米粉用米の需要が高まることが見込まれるため、作付推進を図っていく。

ウ 新市場開拓用米

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

エ WCS用稲

管内に占める作付割合が高いことから、地域内の需給バランスを注視していく必要がある。また新規需要米の適正流通の観点から専用品種を推奨する。

オ 加工用米

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦は、大麦「はるしづく」を中心に作付けを推進し、冬季に作付けのない圃場や期間借地への作付け推進により水田利用率の向上を目指す。

大豆については、圃場のローテーションを行い、連作障害の軽減による収量増加を推進する。また、産地交付金を活用し団地化の取組を支援することで、作付面積の維持・拡大を目指す。

麦、大豆については、地域の担い手への農地集積を促進し、生産性向上を図ると共に共同乾燥調製施設や農業機械の有効活用による、低コスト生産の取組支援を行い、水田利用率の向上を目指す。

飼料作物については、耕畜連携（資源循環）による水田の地力維持に取組み、水田利用率の向上に資する支援を行っていく。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、水田活用の直接支払交付金を活用しながら、作付けを推進する。また、排水対策を推進し収量の安定化を図る。

(5) 高収益作物（野菜等）

産地交付金による園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、特に町の特産物であり、国の野菜指定産地を受けている「人参」を振興品目として支援を行い、作付拡大を図る。

(6) 畑地化の推進

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の 作付面積 (ha)	平成 30 年度の 作付予定面積 (ha)	平成 31 年度の 作付目標面積 (ha)	平成 32 年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	152ha, 825t	152ha, 825t	152ha, 825t	152ha, 825t
飼料用米	1	2	5	10
米粉用米	2	2	4	5
新市場開拓用米				
WCS 用稲	173	175	175	175
加工用米				
備蓄米				
麦	103	105	106	107
大豆	65	60	61	62
飼料作物	69	69	69	69
そば				
なたね				
その他地域振興作物	224	227	228	230
人参	178	180	180	181
野菜（人参以外）	30	31	32	33
花木・花木	2	2	2	2
果樹	1	1	1	1
その他	13	13	13	13

※主食用米の目標値（H30～32）において使用した単収は 543 kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				現状値 (29年度)	目標値 (32年度)
1	人参	重点品目作付助成 (基幹)	人参交付対象面積	178ha	181ha
2	大豆	団地化加算 (基幹・二毛作)	大豆団地化面積	32ha	35ha
			10a 当り収量	158 kg	170 kg
3	麦 大豆 飼料作物	二毛作助成 (二毛作)	二毛作面積	麦 44ha	麦 47ha
				大豆 49ha	大豆 45ha
				飼料作物 47ha	飼料作物 45ha
			水田利用率の向上	120%	122%
4	飼料用米 米粉用米	多収品種加算	多収品種作付面積	飼料用米 1ha	飼料用米 10ha
				米粉用米 2ha	米粉用米 5ha
			10a 当り収量	飼料用米 515 kg	飼料用米 530 kg
				米粉用米 298 kg	米粉用米 500 kg
5	麦 大豆 飼料用米	担い手生産性向上加算	対象面積	麦 60ha	麦 61ha
				大豆 16ha	大豆 15ha
				飼料用米 1ha	飼料用米 8ha
			10a 当り収量	麦 368 kg	麦 371 kg
				大豆 158 kg	大豆 170 kg
				飼料用米 515 kg	飼料用米 530 kg
6	飼料作物 WCS、わら専用 稲、飼料用米	資源循環の取組 わら利用の取組 (耕畜連携)	取組面積	7ha	10ha
			取組割合	4%	6%
7	人参を除く野菜、 花き・花木、果樹、 その他作物	地域振興作物助成 (基幹)	地域振興作物交付 対象面積	46ha	48ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり